

# 第 100 回実践勉強会 実施レポート

平成 30 年 10 月 9 日 大田文化の森 多目的室

座長 中畔 勇一

製品紹介 19 時 45 分～20 時 00 分

共催会社情報提供：「イブランス」ファイザー株式会社

講演 20 時 00 分～21 時 15 分

演 者： 「乳がん診療最近の動向」  
東邦大学医療センター大森病院 乳腺・内分泌外科  
臨床教授 緒方 秀昭 先生

参加者 102 名

《質疑応答》

Q アントラサイクリンの晩期心毒性についてどう説明していますか。検査タイミングはどうされていますか。

A 健常な人は累積投与 1000 を超えると心臓毒性のリスクが高まる。心筋の繊維化がみられる。晩期毒性は投与から 10-15 年後に発現する。140×4 クールで投与量は 500 を超える。アジュバントでも 500 は超える。1000 を超えると注意をする。患者さんにはアジュバントで 1000 を超えているかを確認し、対応する。検査タイミングは兆候がなければ、しない。ハーセプチンの方がリスク高いので常時検査している。

Q イブランスの副作用で口内炎が多い。口内炎のフォローをできるものを薬局においてほしいとのご要望があったが、OTC で推奨するものはありますか。

A 何でもいい。アズノールとかでいい。口内炎発現する前の歯磨き指導や、口内炎がひどくなっているときの口腔衛生指導もお願いしたい。生薬とかでもいい。義歯にも注意になる。

Q お願いになりますが、フェソロデックスからイブランスに変薬した人がいたが、支払いの際に高額で辞退された。薬価差についてや高額療養費制度について患者さんにお話しただけなら嬉しいです。薬局としても高い薬なので開けてしまうと困る。

A 私の患者さんでも一人、価格を理由に辞めた人がいた。イブランスを使う人は治療のレ

トの人が多いため、大体高額療養費制度に申し込んでいる人が多いが、今後は注意して指導する。